

目次

特別寄稿 「文豪大谷崎の机」制作顛末

笹倉 徹 4

◆ 随想

天台寺の五月一日

東條 眞理子 10

拝啓 瀬戸内寂聴様 三

清 重 康 代 12

寂聴先生と祖母

瀬 尾 まなほ 14

寂聴先生へ

本 田 耕 一 17

寂聴遺句集『定命』を読む

記念会会員有志 22

令和の源氏物語ブーム

鷹 尾 奈 津 子 26

「瀬戸内源氏」を読む

羽 地 達 次 28

“光る”君はロックを聴かない

賀 来 眞 留 加 31

多くの男性と交流し、対談した寂聴さんを見て

草 の 実 ア イ 36

中洲港の思い出―瀬戸内寂聴『場所』再読

岸 積 39

謝々!! ジャッキー先生!!

石 川 光 42

「田村俊子」を読んで

那 賀 川 眞 理 46

「白道」に寄せるモノローグ

鷺 尾 博 子 50

寂聴

Vol.3 2024.11

余徳

寂聴と須賀子―『遠い声』私感

◆ 評論

愛別も故国もはるか―一九九二年 寂聴七〇歳

「瀬戸内晴美初期作品における中国

―生と性からみる作家の原点―」より

注がれた同性の深いまなざし、共感の力

―小林亜咲氏の瀬戸内晴美初期作品研究にふれて

◆ 資料

会員の出版本紹介

二〇二四年 寂聴・記念会関連のできごと

今号の執筆者紹介

瀬戸内寂聴記念会会則

編集後記

題字 瀬戸内寂聴

吉岡省二

米本浩二

竹内紀子

小林亜咲

大石征也

54

58

60

70

78

86

88

90

91

92